

JISの確認の計画(案)

No	公示の種類	規格番号	現行JIS名称	理由	素案作成者	対応国際規格との整合 【凡例】 1: IDT 2: MOD 3: NEQ 4: 無(提有)対応国際規格が存在せず、 国際規格に提案中又は提案予定のもの。 5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、 国際規格に提案しないもの。 6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、 今後の対応未定のもの。)	備考
1	確認	B0023	製図—幾何公差表示方式—最大実体公差方式及び最小実体公差方式	対応国際規格及び引用規格の改訂は軽微なものであり、現状のJISで継続しても問題はない。確認とする。	無		1
2	確認	B0060-1	デジタル製品技術文書情報—第1部:総則	対応国際規格もなく、技術的に陳腐化している内容もないので、確認とするのが適切である。 なお、この規格は10部編成であり、2020年度に制定予定であるPart10「組立3DAモデルの表し方」をもって完成するため、その際、全体の整合性の観点から改正の必要性を検討予定である。	無		5
3	確認	B0060-2	デジタル製品技術文書情報—第2部:用語	用語について、現在改正の必要な事項はない。また現在作成中の10部は2020年度の公示を予定しており、この公示により、このシリーズは完成する。このシリーズ完成時に、他の部との整合性も踏まえ、この規格の改正を改めて検討する。今回は確認とする。	無		5
4	確認	B0401-1	製品の幾何特性仕様(GPS)—長さに関わるサイズ公差のISOコード方式—第1部:サイズ公差、サイズ差及びはめあいの基礎	対応国際規格や引用規格の改正がなく、技術的内容の修正の必要もないため、確認とする。	無		1
5	確認	B0401-2	製品の幾何特性仕様(GPS)—長さに関わるサイズ公差のISOコード方式—第2部:穴及び軸の許容差並びに基本サイズ公差クラスの表	対応国際規格や引用規格の改正がなく、技術的内容の修正の必要もないため、確認とする。	無		1
6	確認	B0403	鋳造品—寸法公差方式及び削り代方式	近くJIS案作成の検討を始めるので、現時点では確認とする。	無		2 暫定確認
7	確認	B0405	普通公差—第1部:個々に公差の指示がない長さ寸法及び角度寸法に対する公差	引用規格の改訂があるが、技術的内容の変更はなく、その他にも技術的内容の変更の必要はないため、確認とする。	無		1
8	確認	B0408	金属プレス加工品の普通寸法公差	引用規格の改正があるが、技術的内容の変更はなく、その他にも技術的内容の変更の必要はないため、確認とする。	無		6
9	確認	B0410	金属板せん断加工品の普通公差	引用規格の改正があるが、技術的内容の変更はなく、その他にも技術的内容の変更の必要はないため、確認とする。	無		6
10	確認	B0419	普通公差—第2部:個々に公差の指示がない形体に対する幾何公差	引用規格の改訂があるが、技術的内容の変更はなく、その他にも技術的内容の変更の必要はないため、確認とする。	無		1
11	確認	B0420-1	製品の幾何特性仕様(GPS)—寸法の公差表示方式—第1部:長さに関わるサイズ	対応国際規格の改訂は軽微なものであり、技術的内容の変更はなく、現状のJISで継続しても問題はないため、確認とする。	無		2
12	確認	B0610	製品の幾何特性仕様(GPS)—表面性状:輪郭曲線方式—転がり円うねりの定義及び表示	引用規格の改正があるが、技術的内容の変更はなく、その他にも技術的内容の変更の必要はないため、確認とする。	無		6
13	確認	B0616	円すいはめあい方式	対応国際規格は廃止となったが、我が国ではJISについて継続使用が必要な業界があるため、確認とする。	無		2
14	確認	B0633	製品の幾何特性仕様(GPS)—表面性状:輪郭曲線方式—表面性状評価の方式及び手順	ISO 4288:1996/Cor.1:1998(en)の正誤表が出ているが、JIS B0633(2001)で対応済みである。その他の技術的改正の必要はないため、確認とする。	無		1
15	確認	B0902	駆動機及び被駆動機—軸高さ	対応国際規格や引用規格の改正がなく、技術的内容の修正の必要もないため、確認とする。	無		1
16	確認	B0903	円筒軸端	引用規格の改正があるが、技術的内容の変更はないため、確認とする。	無		6
17	確認	B7440-7	製品の幾何特性仕様(GPS)—座標測定機(CMM)の受入検査及び定期検査—第7部:画像プローブシステム付き座標測定機	対応国際規格や引用規格の改正がなく、技術的内容の修正の必要もないため、確認とする。	無		1
18	確認	B7440-8	製品の幾何特性仕様(GPS)—座標測定システム(CMS)の受入検査及び定期検査—第8部:光学式距離センサ付き座標測定機	対応国際規格や引用規格の改正がなく、技術的内容の修正の必要もないため、確認とする。	国立研究開発法人 産業技術総合研究所		2
19	確認	B7443-3	製品の幾何特性仕様(GPS)—座標測定機(CMM):測定不確かさの求め方—第3部:校正された測定物又は測定標準を使用する方法	対応国際規格や引用規格の改正がなく、技術的内容の修正の必要もないため、確認とする。	無		1
20	確認	Z8051	安全側面—規格への導入指針	対応国際規格の改訂がなく、技術的内容の修正の必要もないため、確認とする。	無		1
21	確認	Z8101-1	統計—用語及び記号—第1部:一般統計用語及び確率で用いられる用語	対応国際規格の改訂がなく、技術的内容の修正の必要もないため、確認とする。	無		1
22	確認	Z8101-2	統計—用語及び記号—第2部:統計の応用	対応国際規格の改訂がなく、技術的内容の修正の必要もないため、確認とする。	無		1

JISの確認の計画(案)

No	公示の種類	規格番号	現行JIS名称	理由	素案作成者	対応国際規格との整合 【凡例】 1: IDT 2: MOD 3: NEQ 4: 無(提有)対応国際規格が存在せず、 国際規格に提案中又は提案予定のもの。 5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、 国際規格に提案しないもの。 6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、 今後の対応未定のもの。)	備考
23	確認	Z8101-3	統計—用語と記号—第3部: 実験計画法	対応国際規格が改訂されており、それに合わせてこの規格の改正を予定しているが、改正申出・公示予定時期が2022年度以降となるため、確認とする。	無		1 暫定確認
24	確認	Z8201	数学記号	対応国際規格の改訂にあわせて、JIS Z8000(量及び単位)の規格群の一部として、この規格はZ8000-2として制定予定である。当該規格の制定の際、同時にこの規格は廃止する予定であるため、それまでの間、この規格は確認とするのが適切である。	無		2 暫定確認
25	確認	Z8221-1	機器・装置用図記号の基本原則—第1部: 図記号原形の創作	対応国際規格が改訂されたが、2020年度にこの規格の改正の着手を検討するために、確認とする。	無		1 暫定確認
26	確認	Z8221-2	機器・装置用図記号の基本原則—第2部: 矢印の形及び使用方法	対応国際規格の改訂がなく、技術的内容の修正の必要もないため、確認とする。	無		1
27	確認	Z8221-3	機器・装置用図記号の基本原則—第3部: 図記号を使用するときの指針	対応国際規格が改訂されたが、2020年度にこの規格の改正の着手を検討するために、確認とする。	無		1 暫定確認
28	確認	Z8222-1	製品技術文書に用いる図記号のデザイン—第1部: 基本規則	対応国際規格が改訂されたが、2020年度にこの規格の改正の着手を検討するために、確認とする。	無		1 暫定確認
29	確認	Z8461	標準物質を用いた校正(検量線が直線の場合)	引用規格の改正があるが、技術的内容の変更はないため、確認とする。	無		1
30	確認	Z8462-1	測定方法の検出能力—第1部: 用語及び定義	ISO 11843-1:1997/Cor 1:2003の正誤表が発行されているが、軽微なものであり、確認とする。	無		1
31	確認	Z8462-3	測定方法の検出能力—第3部: 検量線がない場合に応答変数の限界値を求める方法	引用規格の改正があるが、技術的内容の変更はないため、確認とする。	無		1
32	確認	Z8791	ホログラムの回折効率及び関連する光学特性の測定方法	技術的な変更が必要な点はないため、確認とする。	国立研究開発法人 産業技術総合研究所		5
33	確認	Z8792	ホログラムの記録特性測定方法	技術的な変更が必要な点はないため、確認とする。	国立研究開発法人 産業技術総合研究所		5
34	確認	Z9015-3	計数値検査に対する抜取検査手順—第3部: スキップロット抜取検査手順	引用規格の改正があるが、技術的内容の変更はないため、確認とする。	無		1